

令和3年度 彦根市まち・ひと・しごと創生本部 第1回会議

日 時：令和3年(2021年)7月27日(火)

場 所：オンライン開催

○企画課長

ただいまから、令和3年度彦根市まち・ひと・しごと創生本部第1回会議を開催いたします。

部長会議に引き続いての会議となり、みなさんお疲れかと思いますが、円滑に進行できますようご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

また、創生本部会議につきましては、会議録を作成し、ホームページで公開しております。

そのため、大変恐れ入りますが、ご発言いただく際は、お名前を仰っていただいてからご発言いただきますようお願いいたします。

それでは推進本部設置規程第4条の規定に基づき、本部長に議事の進行をお願いいたします。

○本部長（市長）

本部設置要綱によりまして、議長を務めます。

それでは、早速ですが、本日の議題の審議に移ります。

議題(1)令和2年度KPIに係る内部評価について審議することとします。

それでは各部会での協議結果について、基本目標の順番に各部会長より説明をお願いします。

○事務局

基本目標1について説明いたします。

施策名「(1) 企業立地や産業集積の促進等による地元での就職環境の整備」の内、KPI名「有効求人倍率」については、令和2年度KPI結果1.14で未達成です。令和2年8月からは徐々には回復しつつありましたが令和3年2月から再度減少に転じたことにより、目標値を達成することができませんでした。課題解決に向けては、彦根地域雇用対策協議

会で各関係機関と各事業所との連携により取り組んでまいります。

次に、KPI 名「企業立地促進助成措置件数」、累計については、令和 2 年度 KPI 結果 89 件で達成です。今後も、各種企業立地施策を推進することで、企業の設備投資の促進や企業誘致を図ります。

次に、施策名「(2) 起業や新分野への進出に対する支援による新たな雇用の創出」、KPI 名「起業者数」累計は、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、KPI 結果 107 人で達成となります。今後も各関係機関と連携して、起業できる環境等を整備していきます。

次に、施策名「(3) 地場産業の人材確保・育成および競争力強化」、KPI 名「彦根仏壇職人等後継者育成事業補助者数」については、令和 2 年度 KPI 結果 20 人で未達成です。後継者不足は深刻化しており、引続き新たに雇用する職人の人件費補助を行うほか、仏壇の魅力を高めるために、組合が取組む様々な活性化策に支援を行ってまいります。

次に、施策名「(4) 6 次産業化や農商工連携の推進による農林水産業の競争力強化」について、KPI 名「新規就農者数」累計ならびに「法人経営体数」累計については、いずれも令和 2 年度 KPI 結果は達成です。今後も、新規就農者の定着ならびに法人化支援を行ってまいります。

次に、施策名「(5) 人材不足の職場における人材の確保・定着への支援」の内、KPI 名「福祉の職場説明会参加者のうち就職に結びついた人数」については、令和 2 年度 KPI 結果 0 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、職場説明会を開催することができなかったことによるもので、今年度は、SNS 等のデジタルツールを活用した事前の情報発信を行うとともに、説明会場での滞在時間を短縮する等の感染対策を徹底した上で開催していきます。また、福祉職場の魅力を伝えるパンフレットの作成にも取り組み、引き続き人材確保に努めます。

次に、KPI 名「ひとり親家庭が就職に有利な資格等を取得する際に係る費用助成対象者数」累計については、令和 2 年度 KPI 結果 32 人で達成です。今後も、当課の就労支援とハローワークとの連携により、看護師や保育士、介護関係の資格取得者へのフォローを行い、ひとり親家庭の経済的自立と人材の確保・定着を目指します。さらに、新規就農者の定着ならびに法人化支援を行ってまいります。

次に、施策名「(6) 観光・文化・スポーツの振興による地域活性化策の強化」の内、KPI 名「観光入込客数」については、令和 2 年度 KPI 結果 1,454,600 人で未達成です。令

和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、前年比約 46%の観光入込客数となりました。今後の先行きは不透明であります。with コロナ・after コロナ、それぞれに応じた観光振興施策や誘客施策等の研究・検討を行い、安心・安全な環境の準備と実施により、観光消費額の増加を図ってまいります。

次に、KPI 名「外国人観光客数」については、令和 2 年度 KPI 結果 16,529 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、外国人観光客数については、前年比約 18%となりました。外国人観光客については、国内観光客よりも回復は遅れるものと考えていますが、来るべきインバウンド需要の回復期に向け、after コロナの外国人観光客誘致について調査研究を行ってまいります。

次に、KPI 名「歴史まちづくり取組件数」については、令和 2 年度 KPI 結果 25 件で未達成です。今後も、継続的に歴史まちづくりに関連する事業の推進を図り、彦根市歴史的風致維持向上第 2 期計画に基づき、今後も関係課ならびに市民や関係団体等と協働して、取り組みを推進する必要があります。

最後に、KPI 名「スポーツ大会の市外参加人数」については、令和 2 年度 KPI 結果 0 人で未達成です。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、評価対象事業のすべてを中止としたため、実績値が 0 となったものです。誰もが安心してスポーツに参加できるよう、本市主催ならびに彦根市スポーツ協会加盟団体等が実施する各種大会・行事等について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、市外の住民も参加できるよう周知徹底を図るなど、地域活性化に向けた取組を推進していきます。

○本部長

ありがとうございます。コロナ禍の状況で実施できないものが多かったかと思っておりますので、未達成が多いのは仕方ないかと思っております。

私から 1 点、外国人からの入込客数について、アラビア語の表記についても検討するのも一つかと思っております。候補の 1 つに加えていただければと思います。

○事務局

基本目標 2 「次代を担う子どもたちを安心して産み、育てることのできるまちづくり」の、令和 2 年度の評価について、ご説明をさせていただきます。

基本目標 2 では、結婚から妊娠、出産、子育てまでの各ライフステージに応じた切れ

目のない支援を行い、経済的、精神的、身体的な負担や不安をできる限り軽減するとともに、仕事と子育てが両立できる子育てしやすいまちづくりを進めることにより、人口構造を安定させ、人口減少に歯止めをかける土台を築くことや、ふるさと彦根に愛着や誇りを持つ子どもたちの健やかな育成を図ることを目的として、4つの施策を実施することとし、10のKPI指標を設定しております。

一つ目の施策につきましては、結婚から子育てまでの切れ目のない支援でございます。KPI名「年間出生数」につきましては、目標値990人に対して795人と、達成率が80.3%となっております。令和2年度に関しましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、各種イベントが中止になるなどの影響が出ております。全国的にも、出生数が減っている減傾向にあり、本市においても減少しておるところでございます。今後につきましては、様々な分野で連携を強化することが求められています。

課題解決に向け、今後実施すべき取り組みといたしましては、生産年齢人口の増加のために移住検討者に対してきめ細やかな支援を行うとともに、結婚を望む独身男女に対する支援を継続して行って参ります。また、結婚、妊娠、出産、子育ての各ステージにおける関係部局とのきめ細やかな連携の強化も図って参ります。

2ページをお願いいたします。

KPI名「年少人口割合」につきましては、目標を達成しておりますが、出生数が減少しておりますので、今後、当該割合についても減少することが懸念されます。今後につきましては、今ほど申し上げました、年間出生数と同様の取り組みを実施して参ります。

次に、KPI名「保育所待機児童数」につきましては、年度当初は、前年度10月に始まりまして、3歳児以上児への保育料無償化の影響から3歳児の申し込みが増え待機児童が増加いたしました。

本市では就学前児童数が今後も減少することが想定されている中で、就学前児童数全体に占める保育ニーズの割合が増えており、保育ニーズはしばらく横ばいもしくは微減が続くと考えております。そのため、20年、30年後を見据えた施設整備と保育士の離職理由に上がる問題をひとつでも多く解決し、保育人材不足を解消することで、待機児童数の解消を図って参ります。

次に、KPI名「彦根市子ども・若者支援センターの相談者数」につきましては、実人数増加のため、センターの広報、周知や他機関との連携の強化を図って参ります。

次に、K P I 名「地域での子どもの居場所の整備」につきましては、目標を達成できましたが、現在交付している補助金が3年限度となっておりますため、その後につきましても、自立した運営ができる体制作りを支援して参りたいと考えております。

2つ目の施策は、「小・中学校教育の充実」でございます。

K P I 名「市内児童・生徒の全国学力学習状況調査における正答率の全国平均との差」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大影響を受け全国学力学習状況調査が未実施であったため、評価を実施しておりません。今後も各校の取り組みを充実させることにより、目標実現に向けて確かな学力の育成を図って参ります。

次に、K P I 名「市内児童・生徒学校満足度」につきましては、目標値の90%に近い数値にはなっておりますが、目標値は達成しませんでした。今後も学校生活が楽しいと感じられるよう学びの環境づくりや互いに認め合える集団づくりの推進を図って参ります。

3つ目の施策は、「ふるさとを誇りに思い、将来地域社会に貢献する子どもの育成」でございます。K P I 名「地域行事に参加している児童・生徒の割合」につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域行事が中止縮小となったため、数値が低くなっております。

今後は、感染症対策を講じた上で地域行事に積極的に参加していけるように働きかけて参ります。

4つ目の施策は、「仕事と生活の調和の推進」でございます。

K P I 名「ワーク・ライフ・バランス取組企業数」につきましては、目標件数63件に対して67件と達成となっております。ワーク・ライフ・バランス推進に関連する文書の送付や、男女共同参画地域推進員が電話啓発により県のワーク・ライフ・バランス推進企業制度について周知啓発を行い、一定の効果はあったものと考えられます。

ワーク・ライフ・バランスの推進に対する市内事業所の認識、取組には、関心のある事業所とそうでない事業所の差が大きいため、今後につきましては、滋賀県内の登録制度の周知のため、市の広報やホームページ掲載の検討や、ハローワーク彦根や彦根商工会議などの関係機関と連携し、登録制度の普及を強化して参ります。

最後に、K P I 名「イクボス宣言企業数」につきましては、目標件数22件に対して、19件と達成率は86.4%となっております。

令和2年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、直接の啓発の機会として予定をしておりました企業訪問が実施できませんでしたが、それに代わ

りまして、市内企業 150 社に対して電話での啓発を行いました。今後につきましては、制度の周知のため、市の広報やホームページの掲載の検討や、ハローワーク彦根や彦根商工会議所などの関係機関と連携し、制度の普及を強化して参ります。説明は以上でございます。

○本部長

ありがとうございます。基本目標 2 について質問等ございますでしょうか。

私から 1 点質問いたします。待機児童の件で、ハード面での増加は難しいとは思いますが保育士の負担を削減していくということが重要になってくると思いますが、タブレット等の配布等を行っていく事で、働き方改革を進め、保育士の負担を軽減することを進めることも必要だと感じています。保育料を集める事なども、DX を活用することで、負担軽減をすることが出来るかと思えます。

○事務局

今後ビジョンに入れられるようにしていきたいと思えます。

○本部長

ありがとうございます。他にありませんでしょうか。

○病院事務局長

(1) の中で、年間出生数の減少について、コロナ禍でどこの自治体も減少しているとは思いますが、地域医療構想の中で産科することのできる病院が集約されることとなっています。もし、市外の病院に集約されてしまうようなこととなりますと、「安心して産み育てられることのできるまちづくり」としてうまく機能しないということになりかねないと思っているため、地域医療構想については県等にも要望してまいりますが、気を付けて行かないといけないかと思っております。意見になりますが以上です。

○本部長

そうですね。市としても産科の再開に向けて取り組んでいかなければならないと思っております。ありがとうございます。

○事務局

基本目標 3、「若者がチャレンジでき、新しい人の流れが生まれるまちづくり」ということで、若者定着・移住部会でございます。当部会におきましては、本市には若者である学生が多数在学しておりますので、学生の人材育成やスキルアップを支援し、学生がチャレンジできる環境整備を支援するなど、若者がチャレンジできるまちづくりを進めるとともに、本市の魅力を発信していくシティプロモーションを推進いたしまして、移住を促進する仕組みを構築するなど、移住促進策を推進することで、新しい人の流れが生まれるまちづくりを進めているところでございます。

5つの施策につきましてそれと9つのK P I 目標に係る評価につきましてご説明を具体的にさせていただきます。

施策名(1)「市内大学をはじめとした高等教育機関等との連携強化」について、まず、K P I 名「市内 3 大学新卒者の市内就職者数」につきましては、令和 2 年度の目標値 40 人に対して 37 人と達成率は 92.5%となっています。課題としては、学生が県内および市内の企業を知らない事によって就職に結びついていかないという課題もあると思われま。誠に申し訳ございません。ここで資料の修正をお願いしたいのですが、課題のところで滋賀就職フェア in 彦根について、「昨年度新型コロナウイルス感染症の影響からオンライン開催」となっていますが、実際は実地での実施をしております。直近開催が昨年度で新型コロナウイルスの影響で中止となっており、一昨年は参加者 58 人で、令和 2 年度は 41 人と減少しております。これにつきましては今後とも、湖東圏域の 4 町とも連携いたしまして、もっと地元企業の周知を図っていきたいと考えておりますし、家賃とか土地の安価な点、或いは都市部へのアクセスのよさなど、本市の暮らしやすさについてももっと P R を強化していきたいと思っております。これについてはコロナ禍であるか否かにかかわらず、しっかりと P R を行っていきたいと考えているところでございます。今後については、イベント周知を行っていく等、地元企業の周知を図り、就職のきっかけを作っていきます。また、働き方や価値観の変化からも彦根という地域を P R していきたいと思えます。

次に、K P I 名「大学等高等教育機関との連携事業数」につきましては、令和 2 年度の目標値 66 件に対して 27 件となっており、達成率は 40.9%となっています。これに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業自体が中止になっていることや、大学に

についても休業等を余儀なくされた事情があり、例年より大幅に減少しているところがございます。今後については、今までの連携を取りやめることなく、事業のやり方等を検討するとともに、コロナ禍、アフターコロナを見据えて連携を続けていきたいです。

施策名(2)「データ利活用の推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したのですが、まず、KPI名「オープンデータ種類数」につきましては、令和2年度の目標値40件に対して実績が32件となり、目標に届きませんでした。今後はデータを保有する担当課の意識高揚を図ることが課題でございますので、関係各課と連携しながら、取り組みを進めて参りたいと考えております。

次に、KPI名「ポータルサイトアクセス数」につきましては、令和2年度の目標値1,400件に対して実績が50件となり、結果が目標値を大きく下回りましたが、目標値は年間アクセス数となっており、ポータルサイトの開始が令和3年3月と年度末になったためです。今後は年間を通して数値の推移を注視していくとともに、種類別閲覧数を分析し、閲覧数の多い事業に関連した資料のオープンデータ化を進めていき、アクセス数の増加を図ってまいります。

施策名(3)「シティプロモーションの推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したものです。まず、KPI名「NPSの値(推奨意欲)」につきましては、NPS(Net Promoter Score/ネット・プロモーター・スコア)とは、顧客ロイヤルティを知るための指標で、顧客アンケートで「あなたはこの商品・サービスをどの程度、友人や同僚に勧めますか?」という質問に0~10の11段階で答えてもらった結果を数値化したものです。計算方法は、回答された数値によって、顧客を3グループに分け、最下位の批判的なグループの比率を、最上位の推奨するグループの比率から引いた数値となります。

このKPI名「NPSの値(推奨意欲)」については推奨意欲に係る市民アンケート調査の結果となりますが、令和2年度の目標値0.0に対して実績が-0.9となり、目標は達成できませんでした。今後は「市民ライター講座」などの実施により、積極的な推奨を行う市民(推奨意欲が高い層)の増加に繋げていけるよう取り組みます。

次に、KPI名「NPSの値(参画意欲)」につきましては、参画意欲に係る市民アンケート調査の結果となりますが、令和2年度の目標値-15.0に対して実績が-8.7となり、目標を達成することができました。引き続き、クラウドファンディング活用支援など、市民が協力し合って課題解決に取り組める施策に取り組めます。

次に、KPI名「NPSの値(感謝意欲)」につきましては、感謝意欲に係る市民アンケ

一ト調査の結果となりますが、令和2年度の目標値58.0に対して実績が54.8となり、目標は達成できませんでした。感謝意欲の低い層は減少していますが、高い層が伸び悩んでいることから、今後は市民の共感を得られる情報発信に努めていきます。

施策名(4)「関係人口増加策の推進」については、令和2年度から新たに施策に追加したのですが、KPI名「ふるさと納税による寄附者」につきましては、令和2年度の目標値6,000人に対し結果5,808人で、目標をわずかに達成できませんでした。今後は、寄附者を増やすために、返礼品の充実と積極的なPRに取り組みます。

施策名(5)「移住推進策の推進」については、まず、KPI名「社会増減数」については、令和2年度は176人の減少となっており、目標からは300人以上離れている状況となっております。転入、転出については様々な要因が考えられますが、各事業を実施していくことで住みたくなる彦根を作り、アフターコロナに向けて彦根を売り込み、移住の最後のきっかけとして移住関係の事業を実施していきたいと考えております。

次に、KPI名「移住施策による市外からの移住者数」につきましては、令和2年度の目標値36人に対して結果62人と目標達成となっております。新型コロナウイルス感染症の拡大防止等の関係から、減少が懸念されましたが、各種事業を利用する方は一定数おられ、目標値まで行くことができています。今後も移住に関しての様々なイベントを開催するとともに、移住コンシェルジュによる移住希望者一人ひとりに合ったきめ細やかな支援を行っていきます。

○本部長

ありがとうございます。何かご質問等ありますでしょうか。

私から1点、シティプロモーションの推進について、解決の方法についてももう少し工夫が必要になるのではないかと思ったという意見となります。

○事務局

それでは、安全なまち部会での内部評価結果についてご報告します。当部会における基本目標は「時代に合った地域の中で、安心な暮らしを守るまちづくり」であり、数値目標の指標は人口としております。令和2年度における指標の達成率は99.3%となっております。自然増減、社会増減の分析は共に減少となっており、人口減少を抑制するため、出生数増加と転入増加にする取組が求められており、引き続き総合的に人口減少対

策を進め人口減少を抑制していきたいと考えております。

次に、施策名(1)「彦根らしい多極的なコンパクトシティの形成」でございます。まず、KPI「居住誘導区域の人口密度」でございますが、目標値は達成しておりますが、現時点では、人口誘導区域内における人口減少に転じてないという事によるもので今後、減少傾向に転じていくことは予想される場所です。特に旧城下町においては人口減少傾向で課題拡大が続いております。このためさらなる誘導施策が必要であり、特に空き家の利活用など、コンパクトシティと整合した空き家対策を検討して参りたいと考えております。

次にKPI「路線バス年間利用者数」と「予約型乗合タクシー乗合率」でございますが、これはいずれも、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりまして、目標値に達していないという状況になっております。感染予防対策を徹底しつつ、湖東地域公共交網形成計画に基づいた、各施策を行い、引き続き公共交通の機能強化を図って参りたいと考えております。

続きまして(2)「空き家等住まい対策の推進」でございます。KPIは「管理不全な空家等及び特定空家等の是正率」でございますが、これにつきましては目標を大幅に上回っております。しかしながら、空き家発生率は増加傾向にあると考えられますので、さらなる対策の強化、また変動する空き家の実態を把握し、空き家の利活用に寄与します空き家バンク等の運営など、各施策に引き続き取り組んで参ります。

次に、施策名(3)「公共施設マネジメントの確立による持続可能な施設整備・運営管理」でございます。

KPI「公共建築物の総延床面積の削減率」でございます。目標値は達成をしておりますが、施設の廃止・統廃合につきましては、利用者の理解が必要でありますため、必要性の検証による説明責任が求められております。

令和2年度までに、個別の施設管理計画を策定しましたところですが、令和3年度におきましては、国の方針を踏まえまして、彦根市公共施設総合管理計画の改訂の必要がありますことから、各個別施設計画の情報の整理を行った上で、所要の改訂を行って参ります。

次に、施策名(4)「安全・安心な暮らしの確保」でございます。まず、KPI「自主防災組織率」でございますが、目標を達成しております。高齢化によりなり手が少なく設置困難な自治会が多い中、防災講習や説明会等による動画配信などにより設置促進を図って

おり、令和2年度におきましては、新たに2自治会が、自主防災組織を設置されております。今後も、広報誌や講習等により、意識の醸成や共助の重要性を説明して参ります。また、自主防災組織未設置の自治会、特に小規模な自治会には複数の自治会等の合同での設置など啓発を行いますとともに、自主防災組織に必要な規約作成の支援、フォローや補助制度の周知も行って参りたいと考えております。

次に、KPI「彦根市内犯罪率」でございますが、これにつきましても目標を達成しております。今後も、警察等関連機関と連携し、地域の安全活動を推進するとともに、防犯灯、防犯カメラの設置、設置補助や防犯講習会、防犯情報の発信や青色パトロール車によるパトロールなどを実施して参ります。

最後に、施策名(5)「湖東定住自立圏形成協定に基づく取組の推進」でございます。KPI「湖東定住自立圏1市4町の人口」は目標達成率が99.9%とわずかに目標値に届いておりません。愛荘町・豊郷町・多賀町は横ばいですが、本市と甲良町の人口は、減少しましたことから、圏域全体で減少という結果となっております。本市では、出生率の減少に加え、新型コロナウイルス感染症が経済におよぼした影響も大きく、景気後退の影響などから転出者が増加した可能性が考えられるところです。人口減少に歯止めをかけるべく、引き続き、まち・ひと・しごと総合戦略の各施策を実施するとともに、定住自立圏の事業を推進し、圏域全体の生活機能と魅力向上を図ることで、本市の魅力向上につなげて参りたいと考えております。

以上で、「安全なまち部会」の内部評価報告を終わります。

○本部長

ありがとうございます。何か質問よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして、第1回会議を終了したいと思います。ありがとうございました。